

新生児専門医に必要な研修内容

(1) 必要研修症例数

1) ハイリスク分娩立会い	20 例以上
2) 健常新生児管理例数	50 例以上
3) 超低出生体重児受け持ち数	10 例以上
4) 極低出生体重児受け持ち数	20 例以上
5) 中枢神経疾患(新生児けいれんなど)	5 例以上
6) 重症感染症(敗血症, 髄膜炎など)	3 例以上
7) 循環器疾患(PDA 単独を除く)	5 例以上
8) 新生児黄疸の管理	5 例以上
9) 血液凝固異常(新生児 DIC など)	3 例以上
10) 先天異常(染色体異常など)	3 例以上
11) 小児外科疾患	5 例以上

(2) 診断及び治療技能

1) 超音波を用いた診断技術	20 例以上
2) 気管挿管	20 例以上
3) 呼吸管理症例(経鼻持続陽圧呼吸は除く)	20 例以上

(3) その他

1) 剖検数	1 例以上
2) 極低出生体重児のフォローアップ	3 例以上

(4) 経験することが望ましいもの

- 1) ハイリスク新生児の施設間搬送
- 2) 交換輸血
- 3) 胸腔穿刺